

⑤財務諸表に対する注記

(1) 重要な会計方針

ア 有価証券の評価基準及び評価方法

① 満期保有目的の債券

移動平均法による原価法により評価している。

イ 固定資産の償却方法

① 什器備品

平成19年3月31日以前に取得したものについては旧定額法、平成20年4月1日以降に取得したものについては定額法によっている。

ウ リース取引の処理方法

所有権移転外ファイナンスリース取引については、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理による。

エ 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込み方式によっている。

(2) 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	218,085,900	0	0	218,085,900
定期預金	184,100	0	0	184,100
小計	218,270,000	0	0	218,270,000
特定資産				
スポーツ振興 基金積立金	6,663,809	2,039,949	6,765,366	1,938,392
小計	6,663,809	2,039,949	6,765,366	1,938,392
合計	224,933,809	2,039,949	6,765,366	220,208,392

(3) 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの 充当額)	(うち一般正味 財産からの 充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券	218,085,900	(218,085,900)	(0)	—
定期預金	184,100	(184,100)	(0)	—
小計	218,270,000	(218,270,000)	(0)	—
特定資産				
スポーツ振興 基金積立金	1,938,392	(0)	(1,938,392)	—
小計	1,938,392	(0)	(1,938,392)	(0)
合計	220,208,392	(218,270,000)	(1,938,392)	(0)

(4) 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	185,850	67,600	118,250